

とらわれのアクション Actions in Chains

アリストイド・マイヨール Aristide Maillol

豊満な女性の体に男性的な顔と鋭い、後ろ手に縛られ身をよじり自由への希求を表現した作品。そのボリュームは見るものを圧倒します。長い獄中生活を送った革命家ブランキの記念碑です。



弓を引くヘラクレス Hercules the Archer

エミール=アントワーン・ブールデル
Émile-Antoine Bourdelle

ギリシャ神話の英雄ヘラクレスが怪鳥を射とめようとする瞬間を表現したもので、ブールデルは約15年間ロダンの助手も務めました。



バルザック Balzac

オーギュスト・ロダン Auguste Rodin

《考える人》の作者ロダンは、生命感あふれる表現で彫刻界に近代化をもたらしました。文豪バルザックの苦悩する内面性を、深夜に想を練るガウン姿で表現しています。



人とペガサス Man and Pegasus

カール・ミレス Carl Milles

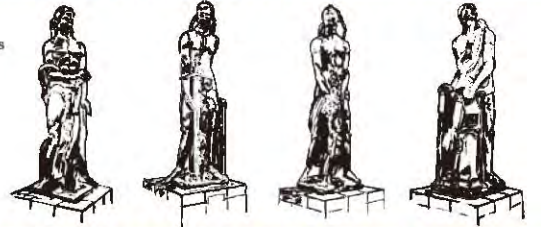
ギリシャ神話の英雄ペレポフォンが天馬ペガサスに乗って、怪物キマイラの退治に向かう場面。19メートルの台座の上に展示されるこの作品は、空を背景にした野外に映えています。



力、勝利、自由、雄弁 Four Grand Statues

エミール=アントワーン・ブールデル
Émile-Antoine Bourdelle

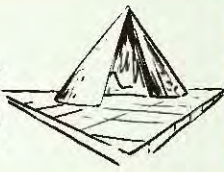
アルゼンチン共和国の建国の父、アルヴェアル將軍の騎馬像を囲む4つ彫刻の習作。左から《力》、《勝利》、《自由》、《雄弁》。將軍の理想と業績をシンボルとして表したものです。



極 Pole

多田美波 Minami Tada

磨きこまれたステンレスの面に空やまわりの木の枝が映り、広がった裾から内側に入りこんで天へと抜けていきます。見る者と環境を取りこんだ光の乱反射の世界が広がります。



雨の山 Rain Mountain

イサム・ノグチ Isamu Noguchi

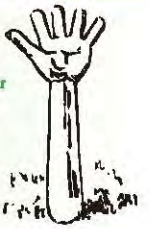
鋼鉄を熱い亜鉛に浸してメッキしたシリーズのひとつ。中国の山にアメリカの自然と異なる雰囲気を感じ取り作られたというこの作品は、日本の風景にすんなりと溶け込んでいます。



大きな手 Big Hand

ライナー・クリスター Rainer Kriester

池面から生えてくるような巨大な手。ナチスドイツの迫害で苦しんだ過去を持つクリスターは、作品の中で生きることへの切望を表現しています。



女 Woman

朝倉響子 Kyoko Asakura

軽やかな波上のリズムと空間を斜めに横切る大胆なポーズ。女流作家による繊細な配慮がいきとどいた作品です。情感を適度に抑制され、女性の内側に秘めた美しさが象徴的に高められています。



鶏を抱く女 Girl with Cock

本郷新 Shin Hongo

モニュメントの先駆者、本郷新は母子や若者といった普遍的な人間姿を主題として数多くの作品を手がけました。瞳を閉じ立ちすくむ少女の姿からは、存在感が伝わってきます。



マント Mantle

佐藤忠良 Churyo Sato

都会的で洗練された現代の女性を表現した作品。髪、顔の形や目鼻立ち、マント、ブーツなどが簡潔にとらえられ、女性らしいたずまいが感じられます。作者の長女がモデルとなっています。



海 Sea

高田博厚 Hiroatsu Takata

茫洋とした海の汀に静かに、足を浸す裸婦の姿に、作者の母への追憶を重ねた作品です。故郷の石川原能登七尾の海への思いも込められています。



戦士 Warrior

マリノ・マリニ Marino Marini

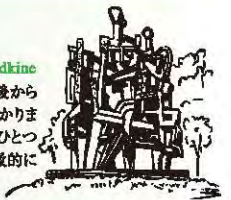
ざらざらしたブロンズの表面が、荒々しい表情をみせています。一見、抽象彫刻のようにも思えますがここには、力尽き、今にも倒れようとする馬と戦士の姿が表されています。



住まい Home

オシップ・ザツキン Ossip Zadkine

ウェーブした髪を持つのが女性で、背後から女性を支えているのが男性だとわかります。肩を寄せつつ胸をからませながらひとつの集合体を作り上げ、家族の絆を象徴的に表わしています。



球体をもった球体 Sphere with Sphere

アルナルド・ポモドーロ
Arnaldo Pomodoro

歯型のような割れ目と鋭まれたような内部は、滑らかな表皮と対照的な様態を見せ、見る者を驚かせます。球体は小さな球体を内包し、新たな生命を育てているように見えますが、それとすでに触れられています。



マイ・スカイ・ホール(天への道) My Sky Hole

井上武吉 Bukichi Inoue

天に伸びる4本の柱から球体がぶら下がっています。様々なものを映し出す空の穴は無数の世界を作り上げます。井上武吉は「マイ・スカイ・ホール」をテーマに数多くの作品を手がけました。



浮かぶ彫刻3 Floating Sculpture 3

マルタ・バン Marta Pan

緑豊かな日本の池に浮かぶ、大小ふたつの朱色の彫刻は一つのもので、大きい形からくりぬかれた小さな片は池の中で向きを変え、水の流れや気配までも感じ取ることができます。



若い女 Young Woman

佐藤忠良 Churyo Sato

大きく曲がりくねった動きのある女性のフォルムを、緊張したモデリングを重ねながら制作された作品。ジーンズをつけた半裸の女性像からは、健康的な美しさが伝わってきます。



みちのく Michinoku

高村光太郎 Kotaro Takamura

同じ作品が十和田湖畔に立つ、高村光太郎晩年の作。同一の裸婦像が向い合わせになっています。湖水に映る自分の姿を見た印象をもとに作られました。妻の智恵子がモデルともいわれています。



エーゲ海に捧ぐ Dedicated to the Aegean Sea

木内克 Yoshi Kinouchi

地中海のさざ波を思わせるウェーブされた長い髪、すんなりと伸びる脚と豊かな腰をもつ女性像。前と後ろのボリュームは横から見ると消えてなくなり、軽やかさのある作品に変わっています。



道東の春 Spring in East Hokkaido

舟越保武 Yasutake Funakoshi

風の音に聞き入るかのように静かにたたずむ女性像。聖母のようにほほえむ姿からは、厳しい冬の後にようやく訪れた春のよろこびや希望がこめられています。



道東の秋 Autumn in East Hokkaido

柳原義達 Yoshitsutsu Yanagihara

神を撫った左手を手首から下に垂らしたポーズは、こびるようではないが、右手は内部にひそむ強い抵抗精神をあらわしています。冬に向かって身構える秋がテーマとなっています。



預言者 Great Prophet

パブロ・ガルガリオ Pablo Gargallo

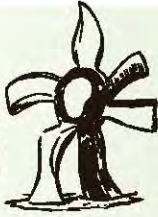
右手を振り上げて高らかに叫ぶ預言者。旧約聖書の登場人物、聖ヨハネの姿をかたどった鉄の彫刻家ガルガリオの代表作です。中空となった胴体や面と面の交差などキュビスムの手法で制作されています。



歩く花 Walking Flower

フェルナン・レジェ Fernand Léger

20世紀前半に活躍した画家レジェは、晩年に建築との共同制作を目的とするモニュメントを手がけました。躍動感あふれるこの作品は、太陽に向かって勢いよく前進しているかのようにみえます。



海辺を歩く少女

Girl Walking on the Beach

ヴェナンツォ・クロチェッティ

目を耳にあてて、たたずむ一人の少女。繊細な表情とはっそりとした身体には、瑞々しい若さが普遍的な美として捉えられています。



幸せをよぶシンフォニー彫刻

Symphonic Sculpture

ガブリエル・ロアー

高さ18メートルの塔。分厚いガラスを楯で手糊りにした破片で作られたステンドグラスが全面にはめ込まれ、外光を複雑に屈折しながら透過させて幻想的な美しい世界を創造しています。

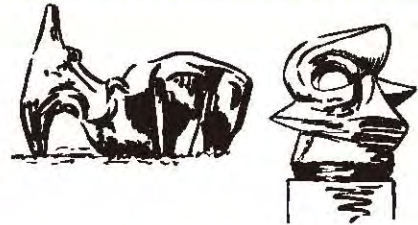


横たわる像 Reclining Figure

大きな糸つむぎの形 Large Spindle Piece

ヘンリー・ムーア Henry Moore

ムーアは、生涯を通じて〈母と子〉〈横たわる像〉〈内なるものと外なるもの〉をテーマにした作品を繰り返してつくりました。野外作品について「彫刻の背景として空以上にふさわしいものはない」と語っています。

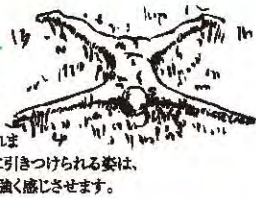


密着 Close

アントニー・ゴームリー

Antony Gormley

手足を思い切り伸ばし、大地にまさに密着しようとしている姿。作者自身の身体の型を取って作られました。鉄の塊が自重で地球の芯に引きつけられる姿は、私たちが地球の一部であることを強く感じさせます。



月光の中の太陽

フィリップ・キング Phillip King

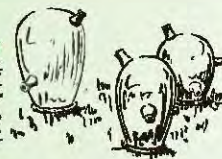
月と太陽をシンブルな記号に置き換えて、宇宙の壮大なドラマを表現しています。キングはこの作品に、自ら酔ったフレーズをつけています。「主人の太陽が奥方の月にご挨拶に現れた」



アトモス Atmos

トニー・クラッグ Tony Cragg

大気を意味する作品名や実験器具や蒸留器のようなかたちから、大気を浄化する装置のように見えます。人間とその環境との関係を改めることを促しているようです。



ミス・ブラック・パワー

Miss Black Power

ニキド・サン・ファール

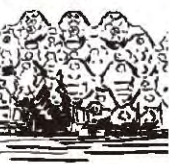
巨大な女性像(ナナ)シリーズのひとつ。極端に小さな手足。カラフルなドレスとバックをもち、大地にどっしりと立っています。生命の源としての女性の自信に満ちた、女性自身による高らかな女性賛歌の像です。



しゃぼん玉のお城(カーヴド・スペース)

ピーター・ピアース Peter Pearce

直径1.42メートルのカプセル94個で構成されています。ピラミッド型を基本にしたカプセルの積み方はダイヤモンドの結晶構造を拡大したもので、自然界の美しい構造がデザインに応用されています。



ボクシングをする二匹のうさぎ

The Boxing Ones

バリー・フラナガン Barry Flanagan

2匹の野うさぎが十字架の上で、ボクシングかダンスでもして戯れているかのような作品です。野うさぎには教訓や寓意が秘められ、ただかわいいだけではないことを表しています。



偉大なる物語

ジュリアーノ・ヴァンジ Giuliano Vangi

総重量25トンを超えるイタリヤ・カララ産の大理石に彫られた群像です。人間の存在とその意味、とくに男の人生をあらわしています。



交叉する空間構造

後藤良二 Ryoji Goto

黒い男性像と赤い女性像が各72体、お互いに手足をつなぎ連なっています。炭素原子を人体に置き換えてダイヤモンドの分子構造を表現しました。人間の連帯が生み出す若々しいエネルギーが感じられます。



16本の回転する曲がった棒

伊藤隆道 Takamichi Ito

作品は電氣を使い、モーターで回っています。ステンレスの曲がった棒は単純な動きをくり返しているのに、光を反射させながら空や周りの風景を写しこみ、くねくねとうねっているように見えます。



シュトルム Storm

マツチンスキー=デニングホフ

シュトルムは、ドイツ語で嵐を意味します。細いステンレスの棒を溶接してできた棒は、嵐の中で忍耐強く大地に根差し、自然のもつ力強さを表現しています。マツチンスキーとデニングホフ夫婦による作品です。



終りのない対話

新宮晋 Susumu Shingu

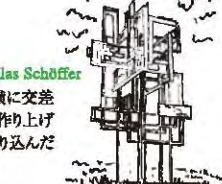
キャンバスを張った帆がふたつ、風まかせに向きを変えながら、上下や左右に動いています。風や光など、自然のエネルギーを感じさせてくれる作品です。



空間力学No.22

ニコラ・シェフェール Nicolas Schöffer

磨かれたステンレスの細い柱が縦横に交差し、光を反射しながら軽快なリズムを作り上げています。時間や光などを作品に取り込んだシェフェールの代表的な作品です。



球型のテーマ

ナウム・ガボ Spheric Theme

最も基本的な形の一つである球体が細い鉄や面で構成され、鑑賞者の位置により様々な表情に変化させます。ガボらしいかろやかな作品です。



魚の骨 Fish Bones

アレクサンダー・カルダー Alexander Calder

カルダーの動く彫刻(モビール)と対となる動かない彫刻(スタビル)の作品です。高さ3.4メートルの巨大な鉄の作品でありながら、紙細工のような自由な曲線をもった平面で構成され、重さを感じさせません。



横たわる像:アーチ状の足

ヘンリー・ムーア Henry Moore

大地の上に横たわる褐色の彫刻。丸みを帯びた有機的な形態は、横たわる人の姿を表しています。当館が最初に所蔵したムーアの作品です。



勢塊 Powerful Mass

安藤泉 Izumi Ando

銅を金鋸でたたき成形する鍛金という技法で作られた作品です。巨大な牛から放たれる生命のエネルギーの塊は、圧倒的な存在感をもって迫ります。



嘆きの天使 Weeping Woman

フランソワ=ザビエ、クロード・ラランヌ

ラランヌ夫妻の共同制作の作品。水面に映った自分に恋したギリシャ神話に登場する青年ナルシスのように、この天使も陶酔した表情を水面に映し出しています。



天をのぞく穴 My Sky Hole

井上武吉 Bukichi Inoue

茶色い鉄の箱が地下にもぐり、透明なガラスの箱から再び出るという鑑賞者の体験そのものを作品としています。地下の小部屋にある天をのぞく穴から空を眺めると、地球の鼓動を感じることができます。



樹人 Tree Man

岡本太郎 Taro Okamoto

薔人の題名のとおり、どこか人間の暖かみを感じられる作品です。広大な自然の中で自由奔放に増殖し続けていくような形態には、ダイナミックな生命力が感じられます。

